

欧州特許庁，出願件数予測調査結果を公表

2010年4月22日

JETRO ティュッセルトールセンター

欧州特許庁（EPO）は，4月21日，「FUTURE FILINGS SURVEY 2009」と題する出願件数予測調査結果をまとめた報告書を公表した。1996年より毎年行われており，従前は「APPLICANT PANEL SURVEY」と題されていたものであるが，タイトルが変更された。この報告書によれば，EPOへの出願件数*は，過去最高値であった2008年の226,310件から2009年は213,017件へと大幅に減少したものの，2010年からは再び増加に転じ，2011年には230,515件と2008年に比較して1.9%増になると予測されている。EPOは，この予測調査結果を，将来の特許出願の手續における高いサービスレベルを確保するためにリソースを配分する際に利用するとしている。概要は，以下のとおり。

1. 調査手法

大手出願人から419名，ランダムに2,029名を抽出し，重複排除により2,164名を抽出。そのうち有効な住所を有する2,055名に対し，民間調査会社（Synovate GmbH）は，2009年6月にアンケート用紙を送付し，電話や手紙でのインタビュー調査により同年9月中旬までに回答を回収した。有効回答率は34.2%（702名）。

2. 調査結果

- ・ 2009年の予測出願件数*は209,040件だったところ，実際の出願件数は約213,017件。
- ・ 2010年の予測出願件数は220,901件，2011年は230,515件。
- ・ その他，出願人種別（大手出願人／ランダム抽出），出願人地域ブロック別（欧州その他／日本／米国），技術分野別（ジョイントクラスター別，メガクラスター別）による件数予測も掲載。

*注：「出願件数」は，EPOへの通常出願と，EPOが受理したPCT出願の合計件数。

－ 本調査の概要は，以下参照 －

<http://www.epo.org/patents/surveys/future-patent-filings.html?update>

－ 報告書全文は，以下参照 －

[http://documents.epo.org/projects/babylon/eponet.nsf/0/DCCB3C2BD75FF351C125770500394158/\\$File/aps_2009_report_en.pdf](http://documents.epo.org/projects/babylon/eponet.nsf/0/DCCB3C2BD75FF351C125770500394158/$File/aps_2009_report_en.pdf)

(以上)